

2024年9月 掲載	JIP's Direct「FOCUS」:	アナリストの在り方～機能、体制、課題、そして期待
	第1章	アナリスト業務の全体像とルールについて
	第2章	<b>アナリスト業務の問題点</b>
	第3章	アナリスト機能と分業
	第4章	課題とアナリスト進化の未来像

## アナリスト業務の問題点

分析の質の確保

- ・ 内部機能として社内審査
- ・ 外部チェック機能として投資家、企業による評価

利益相反

- ・ アナリスト、組織それぞれの利益相反を明示
- ・ 引受業務やM&A業務についても上記と同様
- ・ レポート報酬の明確化

独立の維持

- ・ 適切な組織体制と報酬体系の整備
- ・ 社内における独立性阻害要因を監視

情報管理の徹底

- ・ 法人関係情報の取得についてはガイドラインで管理
- ・ レポート公表時期については、厳格に管理

## アナリストに関する行政処分事例

月日	証券会社	アナリストの行政処分行為
2015年12月	ドイツ証券	(1) 法人関係情報の管理に不備 (2) 法人関係情報を提供した勧誘
2016年4月	クレディ・スイス証券	(1) 法人関係情報の管理に不備 (2) 法人関係情報を提供した勧誘
2017年12月	岩井コスモ証券	(1) 公表前のレーティング情報で一部顧客を勧誘 (2) 上記(1)の行為を10年以上継続 (3) 不適切な勧誘行為が長期間行われこと (4) 経営陣による不十分な態勢整備

※日本証券業協会の自主規制ルールなどから作成